

居場所型デイナイトケアの4つのスペース

安心・安全

スペース

受け止めてもらえる
安心できる
落ち着ける
相談できる

自由スペース

いつでも利用できる
自由に過ごせる
気の合う仲間

ケアスペース

こころと身体の休息
疲労の回復
心身の安定
生活リズムの構築

自分スペース

好きな事を見つける
自分を表現する
自分の可能性を見つける
自信や主体性の回復



ご利用の流れ

当院通院中の方

- ①主治医、スタッフ(看護師・作業療法士・精神保健福祉士・臨床心理士など)にご相談ください。
- ②スタッフから体調や状況の聞き取り、参加についてのご説明をします。
- ③デイナイトケア参加。

他院通院中の方

- ※他院通院しながら、当院のデイナイトケアを利用できます。
- ①通院先の主治医にご相談のうえ、紹介状の準備をお願いします。
 - ②当院担当医師の外来を受診していただきます。
[ご予約はこちら↓](#)
[029-303-1155](tel:029-303-1155)
 - ③スタッフから体調や状況の聞き取り、参加についてのご説明をします。
 - ④デイナイトケア参加。

料金について

各種健康保険、自立支援医療制度、マル福などがご利用になれます。詳しくは、スタッフにお問合せください。

お問い合わせ

水戸メンタルクリニック デイセラピー (直通)

[029-303-7113](tel:029-303-7113)

アクセス

[地図はこちら→](#)



居場所型
デイナイトケア

対象となる方

- ・生活リズムを整えたい
- ・自分のペースで人との関わりを築きたい
- ・今の自分を大切にしたい
- ・家や学校の他にも自分を表現したい
- ・心が落ちつく場所を見つけたい
- ・これからの自分を少しずつ考えたい
- ・安心した時間を過ごしたい
- ・気の合う仲間をみつきたい

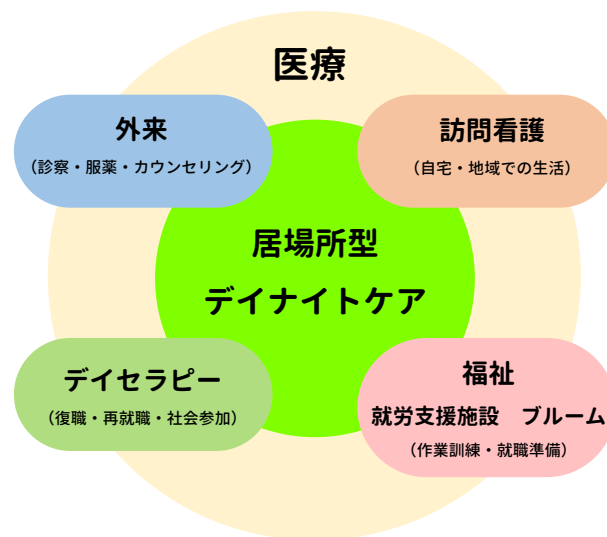
目的

デイナイトケアでは、ひとりひとりのペースに合わせた参加が可能です。決まった利用の仕方はありません。デイナイトケアは、外来に通院されている方を対象とした外来リハビリテーションであり、日中から夜にかけての時間を過ごせる場所です。医師、看護師、作業療法士、臨床心理士、精神保健福祉士などの多職種が連携しながらサポートにあたります。

社会生活機能の回復を目的とし、まずは安心できる居場所としてデイナイトケアを利用しながら、こころの安定や生活リズムの改善、対人関係の練習や自分の好きな活動を見つけるきっかけ作りなど、自分らしい生活を送ることが出来るようサポートしていきます。また、障害年金、障害者手帳申請など、医療福祉制度に関する相談についてもお手伝いさせていただきます。

連携イメージ

当法人の外来診察、カウンセリング、訪問看護、就労支援といった多くの部門と連携することができます。



1日の過ごし方・利用時間

自分の体調やペースに合わせて、スタッフと相談しながら無理なく利用することが可能です。

1日でも、午前中だけでも、午後だけでも、夜だけでも、参加時間や過ごし方は自由です。



利用例

●安心・安全スペースで、徐々に人との関わりが生まれた10代男性

対人関係のストレスが強く、外出が面倒になっている。デイナイトケアを勧められ、安心・安全スペースでマンガやゲームなど1人で過ごしている。次第に自分の好きなゲームを通して利用者との会話の機会を作り始めている。

●自分スペースで、将来の自分を探し始めた20代女性

就職活動を始めたが、自分にはどんな仕事に向いているのか分からない。自分スペースを活用しながら、自己分析をして職業を調べたり、利用者・スタッフと意見を交わしながら将来の自分像を模索している。

●自由スペースで、居場所を見つけた20代女性

通院を続けて体調が安定したため、家族からアルバイトやボランティアの参加を促されている。その励ましが辛くなり、家庭の居心地が悪くなってしまった。自由スペースを活用し、「居心地の良い場所」として自分の気持ちを安定させている。

●ケアスペースで、日中の生活リズムを安定させている10代男性

外出は通院のみ。日中は家族が仕事のため、1人で家で過ごすことがほとんどで、昼寝をして過ごし、昼夜逆転の生活を送っている。主治医からデイナイトケアの利用を勧められ、ケアスペースを活用しながら、外出や生活のリズムを整えようとしている。